

ユーカリ産地の育成

対象者 ユーカリ生産者

【普及活動のねらい】

中山間地域の多い甲賀では、水利条件の悪い水田や不整形水田等の条件不利地の有効活用目として近年グリーン花材として需要のあるユーカリを選定し、関係機関に働きかけ令和元年から推進を行ってきました。令和4年までの活動で新規栽培者を含めた栽培面積は255aまで拡大しています。推進5年目となる令和5年は、目標とする産地規模3haに向けた更なる面積拡大と樹が大きくなる中で課題となってきた樹形管理方法の改善をねらいとして活動しました。

【普及活動の内容】

栽培希望者の開拓および新規栽培者への技術指導

栽培希望者の開拓を目的に甲賀地域農業センターと連携して花き栽培研修会を開催しユーカリの紹介を行いました。JA、市の広報誌にも研修会案内を掲載してできるだけ広く周知し、当日は具体的な栽培イメージを描けるよう座学と現地視察を組み合わせた内容としました。新規栽培者への技術指導では、今年は特に7月、8月が高温少雨となったため、巡回活動を通して定植時期や定植後の灌水管理に注意を呼びかけました。



花き栽培研修会参加者へのユーカリ推進

樹形管理技術の向上支援

昨年の調査研究をもとに、株の樹勢を整えることを目的として生育期間中に主枝を切り戻す弱剪定の周知と実践への誘導を行いました。弱剪定について5月の研修会で紹介し、興味を示した生産者数名で個別に実践支援を行い、10月の出荷研修会で現地研修として皆でその効果を確認しました。

【普及活動の成果】

花き栽培研修会には13名の参加があり、うち2名がユーカリ栽培に取り組むこととなりました。令和5年の新規栽培者では、厳しい気象条件下で管理に苦勞するところがあったものの、全生産者が苗の定植を終え、灌水管理にも注意して取り組んでもらえました。うち1名は試験出荷にもこぎつけ、規模拡大にも意欲を示されています。樹形管理技術については、春の研修会で弱剪定を紹介した後、自主的に行ったところも含め約4名が取り組み、うち実践支援を行った2名でその必要性を理解され、来年も取り組む意向を示されました。来年は引き続き面積拡大と新規栽培者の技術向上に取り組むとともに、現場で新たに生じた課題に応じ、弱剪定等技術の更なる確立に向け活動していきます。

◎対象者の意見

引き続き樹形管理技術の確立をお願いしたい。生産拡大については、市場動向を踏まえ、他品目とも組み合わせ産地づくりを目指すことが望ましいと感じている。

(JA担当者)